

2025 年 8 月 12 日

三菱地所株式会社
高松空港株式会社

～瀬戸内国際芸術祭 2025 パートナー企業連携企画～ 高松港プロジェクト姉妹作品・「そらあみ」を高松空港にて展示

高松空港株式会社のメインスポンサーである三菱地所株式会社は、瀬戸内国際芸術祭実行委員会と共催で、「瀬戸内国際芸術祭 2025」で作品「高松港プロジェクト」(建築:佐藤研吾氏、アート:五十嵐靖晃氏)で展示する五十嵐靖晃氏の作品制作ワークショップ「そらあみを編もう」を 2025 年 7 月に東京・丸の内にて実施。「瀬戸内国際芸術祭 2025」夏会期に向け、志度・津田エリアと引田エリアにて、地元漁師や地域の方々、瀬戸内国際芸術祭のボランティアサポーター「こえび隊」が編んだ網(そらあみ)を受け継ぎ、作品を完成させました。



(写真:2025 年 7 月開催@東京・丸の内 / 五十嵐靖晃氏の作品制作ワークショップ「そらあみを編もう」の様子)

本ワークショップで制作された作品は、「瀬戸内国際芸術祭 2025」の作品として、高松港にて鑑賞することができますが、香川県の空の港である高松空港においても、アーティスト五十嵐靖晃氏、瀬戸内国際芸術祭実行委員会、株式会社アートフロントギャラリーのご協力のもと、本作品の姉妹作を展示する運びとなりました。

【高松空港での高松港プロジェクト姉妹作品・「そらあみ」展示について】 ※空港展示は瀬戸内国際芸術祭公式作品ではありません。

○展示期間 | 「瀬戸内国際芸術祭 2025」夏会期(～2025/8/31)・秋会期(2025/10/3～11/9)

○展示場所 | 高松空港ターミナルビル 正面入口付近(屋外)

○そらあみ | 参加者と共に漁網を編み上げ空に掲げることで、網の目を通して土地の風景を捉え直すアートプロジェクト。空に立ち上げた〈そらあみ〉は、見慣れた風景の中に潜む記憶を浮き上がらせ、その土地に息づく見えない姿を気づかせてくれます。また、漁網の編み方は世界共通のため国内外各地に展開し、海のつながりを編み広げていっています。

○アーティスト | 五十嵐 靖晃(いがらし やすあき)



Photo Manami Takahashi

1978 年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院修士課程修了。人々との協働を通じて、その土地の暮らしと自然とを美しく接続させ、景色をつくり変えるような表現活動を各地で展開。アートとは「自然と人間の関わり方の術」であるとする。2005 年にヨットで日本からミクロネシアまで約 4000 km を航海した経験から“海からの視座”を活動の根底とする。

代表的なプロジェクトは、《くすかき》(太宰府天満宮/2010～)、《そらあみ》(瀬戸内国際芸術祭 2013・2016・2019)、《時を束ねる》(南極ビエンナーレ 2017)、《海渡り》(つなぎ美術館/2021～)など。2024 年、千葉県立美術館開館 50 周年記念特別展「五十嵐靖晃 海風」を開催した。

○主催 | 三菱地所株式会社、高松空港株式会社

○協力 | 五十嵐靖晃、瀬戸内国際芸術祭実行委員会、株式会社アートフロントギャラリー

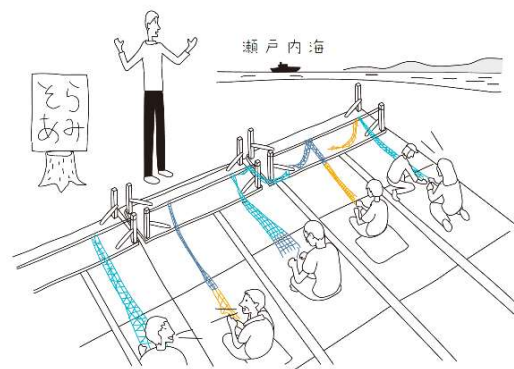
1

漁師さんが使う漁網



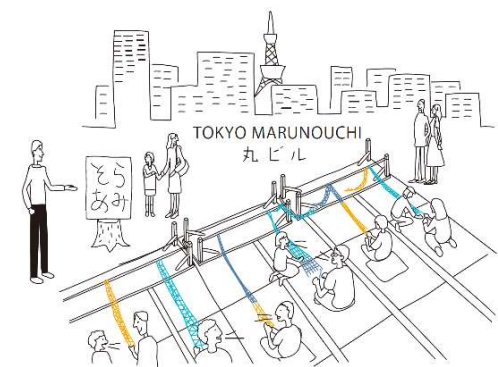
2

豊島・女木島・男木島・小豆島・
さぬき市・東かがわ市、
みんなで作りあげます。



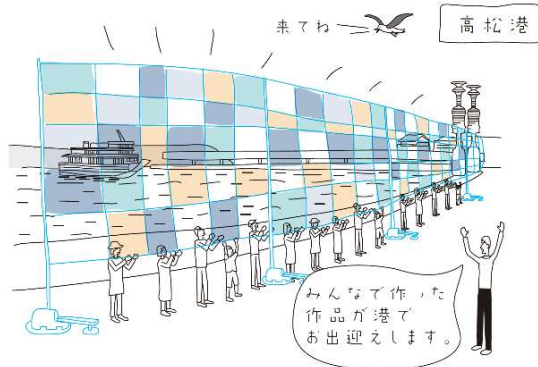
3

志度・津田エリアと引田エリアで
編んだものを東京・丸の内
受け継いで完成。



4

海の港である高松港で
訪れるひとを迎え、見送ります。



5

東京・丸の内編んだ
そらあみが空の港である高松空港でも
みなさまを迎えます。

